

第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録

開催日時	平成25年10月31日（木）午後2時～3時45分
開催場所	江田島市役所 本庁 2階会議室
出席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>城田 俊彦 広島県過疎地域振興課 課長 樋上 美由紀 江田島市教育委員会 委員（審議会副会長） 小方 憲三 江田島市自治会連合会 会長 前田 政子 江田島市老人クラブ連合会 副会長 富田 美保 江田島市PTA連合会 母親代表 青木 博美 安芸地区医師会江田島ブロック ブロック長 大石 君枝 江田島市社会福祉協議会 理事 村上 浩司 江田島市農業委員会 委員 久保河内 鎮孝 江田島市漁業振興協議会 会長 伊藤 富美雄 江田島市観光協会 会長 中谷 隆 県立広島大学 教授（審議会会長）</p> <p>■ 江田島市</p> <p>正井 嘉明 副市長</p> <p>【事務局：総務部企画振興課】</p> <p>亀田 浩司 企画振興課 課長 仁城 靖雄 企画振興課 課長補佐 道本 浩二 企画振興課 主任</p> <p>【事務局：株式会社地域計画工房】</p> <p>増村 嘉大</p>
欠席者	<p>■ 審議会委員（敬称略）</p> <p>藤田 里子 江田島市女性会連合会 副会長 宇根川 昭男 江田島市商工会 副会長 フンク カロリン 広島大学 准教授</p> <p>■ 江田島市</p> <p>土手 三生 総務部 部長</p>
傍聴者	0人
会議次第及び資料	<p>会議次第</p> <p>1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項</p> <p>（1）まちづくりアンケート調査の結果について【資料1-1～1-3】 （2）市民ワークショップの結果について【資料2】 （3）第2次江田島市総合計画の基本構想素案について【資料3-1～3-2】 （4）パブリックコメントについて【資料4】 （5）今後のスケジュールについて【資料5】 （6）その他</p> <p>4 閉会</p> <p>【資料】</p> <p>資料1-1：まちづくりアンケート調査について 資料1-2：江田島市まちづくりアンケート調査(市民アンケート調査)の結果(あらまし) 資料1-3：江田島市まちづくりアンケート調査～調査報告書～ 資料2：総合計画市民ワークショップについて 資料3-1：第2次江田島市総合計画～基本構想素案～【要約版】 資料3-2：第2次江田島市総合計画～基本構想素案～ 資料4：パブリックコメントについて 資料5：第2次江田島市総合計画策定スケジュール</p>

会 議 記 録	
事務局	<p>1 開会</p> <p>本日は、お忙しい中お集まりくださりまして誠にありがとうございます。</p> <p>会議を開催するに先立ち事務局からお知らせします。 本日の会議資料について、ご確認くださいませようお願いします。 資料は、次第と委員名簿、資料1-1から資料5までございます。もし、ないようでしたら事務局にお申し付けください。</p> <p>本日の会議も、これまでの会議と同様に議事録を作成いたしますので、録音をさせていただきます。あらかじめご了承くださいませようお願いします。</p> <p>それでは、ただいまより第2次江田島市総合計画審議会の第2回を開催いたします。審議会は次第にそって進めさせていただきます。</p> <p>それでは、会長からごあいさつをお願いいたします。</p>
会長	<p>2 会長あいさつ</p> <p>皆さん、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。 今回から、将来の江田島市の構想の案を示していただきまして、皆さんにご検討していただきたいと思いますので、よろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>本日の会議には14名中、出席者は11名、欠席者は3名となっています。よって、江田島市総合計画審議会条例第2条第2項の規定により委員の2分の1以上の出席がありますので、会議成立の定足数に達していることをご報告させていただきます。</p> <p>それでは次第3の協議事項となりますが、審議会条例第7条3項に「会長は会議の議長となる」とありますので、ここからの進行は会長へお願いします。</p>
会長	<p>3 協議事項</p> <p>それでは、次第に従いまして協議を進めていきたいと思っております。 早速ではありますが、協議事項の1番目でございます。「まちづくりアンケート調査の結果について」は資料1-1から1-3に関わる事でございますので、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) まちづくりアンケート調査の結果について【資料1-1～1-3】</p> <p>それでは資料1-1～1-3をご覧ください。 (まちづくりアンケート調査について説明)</p> <p>※内容は資料1-1～1-3のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>いかがでしょうか、事前に目を通していただいたのではないかとと思いますが、何かご質問、ご意見はございませんでしょうか。 皆さんの感覚とアンケートの結果に食い違いや一致しているところがあるとは思いますが。</p>
委員	<p>資料1-2の2頁で「5 江田島市のスタート時期と比べた評価」ということで、合併を進めていった一人として、結果に複雑な思いがあります。 いろいろな要素があるといわれたように一概には言えませんが、満足できていないというところに、複雑な思いを感じています。</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

会長	<p>地域的に見た場合に、全市と比べてみますと、沖美町が特にスタート時と比べると少し不満あるようです。一方で大柿町はそれほどでもないというように、地域差がみられません。</p>
委員	<p>合併を進めた立場からすると大変残念な結果とは思いますが、合併前で各町が手厚い住民サービスを行っていた例もありますが、合併するとそれがなくなったということもあり、そういう面でこういう結果が出たのではないかと思います。</p> <p>合併しなかったらどうかという事も考えてみますと、合併しなかったらさらに悪くなっているのでは私だと思います。ですから、合併して良かったという評価はそういう面からもしていくべきだろうと思います。</p>
会長	<p>あまりマイナスに捉えすぎる必要はないと私は思います。この満足度の評価は今後使われていくものですので、江田島市の中でも地域差を少し考慮して頂きながら、今後の基本計画あるいは実施計画の中に盛り込んでいくということで、このアンケートの結果を使えばよいのではないかと思います。</p>
委員	<p>資料1-2の「3 問題点」で、ある程度想定範囲内ですが、まず交通が不便で車がなければ住みにくいということ、医療については総合病院がなく、子供を産める施設がない、それと買い物については特定の地域に集中しているということ。さらに、働く場がない、これらに集約されるのではないかと思います。</p> <p>これらをどういう風に市としても改善していくかという方法を協議していかなければ、沈んでいく町になるような意識になりますので、どう対応していくかということになるかと思います。</p>
会長	<p>アンケートの結果だけを見てみると、大変だなと言う感じもしますが、江田島市の現状からすると、この後の基本構想の中にも出てきますが、広島市や呉市、特に広島市とのつながりが強くなってきていて、どちらかという買い物や働く場所、医療は広島市に依存してきている部分が強くなっているのが、こういう評価に現れているのではないかと思います。</p> <p>これを何とかしていかなければならないかもしれませんし、広島市や呉市とリンクさせながら江田島市の将来を考えていくと言うことが、今回の課題かなと思います。</p> <p>他にございませんか。</p> <p>協議事項3の基本構想素案などの場面で触れていただいて構いませんので、協議事項（1）の報告は終わらせていただきます。</p> <p>続いて、協議事項（2）「市民ワークショップの結果について」の説明を事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（2） 市民ワークショップの結果について【資料2】</p> <p>それでは資料2をご覧ください。 （市民ワークショップの結果について説明）</p> <p>※内容は資料2のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>アンケートだけではなく、ワークショップについても実施するという事で、前回計画させていただきました。9月の中旬に計画通りワークショップを終えたということですので。</p> <p>色々な意見が出てきておりますが、これについて何かご意見はございませんか。</p>
委員	<p>最初に言われましたが、ワークショップは参加者の年代が高いということですのでよいでしょうか。</p>
事務局	<p>募集をかけて直接公募されて来た方が少なかったため、自治会や女性会、PTAなどに声を掛けさせて頂き、参加していただいた結果こういう参加者の年齢層となっています。</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

委員	資料を見ると、盛り上がった感じで色々な意見が出ており、おもしろいなと思ったのですが、アンケートの方は16歳以上の方も答えているため意見が違ってきます。ワークショップも若い人たちが入っていれば、もう少し違う意見が出ていたのかなと感じました。
事務局	例えば江田島町ですと、PTAのご協力を頂けて50歳代までが12名となっており、たくさんの意見を頂けています。子育て世代の視点ということもありまして、医療の中でも小児科であるとか、子供の遊び場という意見を頂いています。
委員	結果的に、若い世代は合計で4人しかいなかったということよいですね。
事務局	江田島町ですと20歳代が2人、30歳代が2人となっています。
会長	若い世代で多いのが40歳代で、人数からすると60歳代というところが多くなっています。これから、一番主を担うであろう、またUターンなども考えると10歳代や20歳代の若い意見も反映してもらいたいという部分もあるかと思えます。 ワークショップの結果の中で、大柿高校の教育が心配と言うことが課題という形で提示してあり、興味がある部分です。アンケートでも教育問題というのは非常に関心が高いということです。 ワークショップで、もう少し低年齢な若者だけを集めた、江田島市の将来のまちづくりについてのワークショップをしていただくというのも、今後の課題になるかと思えます。 教育現場も忙しいので、もし何かの機会を見つけたら、今回のワークショップで漏れていると思われる10歳代、20歳代の若い人たちを対象としたワークショップを計画してやってみてはどうかということ意見を意図として出しておきます。
委員	思いついたのですが、例えば成人式などの案内を出すときに、そういう意見募集をつけておき、書いてもらい意見を頂くことは出来ることかと思えます。 成人式を考える場にできるとおもしろいかと思いました。
委員	ワークショップに参加させて頂いたのですが、40歳代は子供のことを考えて意見を言われていました。大柿高校がせつかくあるのに、みんな呉とか広島に出しており交通費は高いといわれています。大柿高校のことに言っていると、行きたいような学校、工業系や商業系などいろんな勉強が出来る、選択できる高校を子供や親も望んでいます。 高校だけに行かせるのではなく、大学に行かせるか専門学校か就職かを睨んで選んでいるのが、親の考えなので、そういう意味では良い意見も出ているなど思いました。 子育てしている親からすると病院に行かせたいけど夜間の小児科がないなど、いろんな意見が出ていました。 昨年、別のワークショップに参加した時は、各自が好き勝手に意見を言っていました、今回はテーマがテーマだったこともあると思いますが、道の駅を作ってはどうかであるとか、1次産業があっても買うところがないといった意見も言われていました。 年配の方が、若い人の意見を言わせていただける場をくれたので、良かったと思えます。先ほど言われた、中学生や高校生を対象としたワークショップをされることはすごくいいなと思えます。
委員	ワークショップに参加されたと言うことで、たくさんの意見が出されており、この中で実現できるものは実現していただけたらいいと思えます。 若い人の話がありましたが、資料1-3の29頁で江田島市への愛着というのがありますが、20歳代の方は少なくなっており、その辺りがワークショップへの参加ということにも影響しているのかなと思えます。 逆に、ワークショップの中で若い人を巻き込んで江田島市の将来をどうするのか、何が必要なのかといったところを、みんなで意見を出し合うことによって20歳代の愛着も上がるのかなと思えます。
委員	働く所がないから出て行くしかないという面から、愛着はこういう結果になっているんじゃないかなと思えます。

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

会長	<p>私の卒業生にも江田島出身の人がおり、おそらく30歳代、40歳代に含まれるのですが、非常に愛着があるようで、新聞の江田島市総合計画の記事で私の名前を見つけて「どうぞよろしく」と葉書を送られてくるなど、郷土愛もあるなと思いました。</p> <p>資料1-3の29頁でいうと、10歳代、20歳代で愛着の度合いが低くなっています。何か仕掛けをして、この年代に江田島に愛着を持って貰うような施策も良いかもしれません。皆さんのご意見を聞いていると、この年代が今後は重要になってくると思います。</p>
会長	<p>基本構想の段階ではまだ盛り込むことは出来ないと思いますが、今後の基本計画、実施計画では、この年代にターゲットを絞った何か施策を考えてみることも必要になるかも知れません。</p> <p>他にワークショップに関してございませんでしょうか。</p> <p>今の指摘は非常に貴重な指摘だと思います。成人式の利用や、今後の授業その他で10歳代、20歳代の若者をいかに江田島市の施策に参画させるかという工夫を考えなければいけないかと思っています。</p> <p>それでは、ワークショップに関してはないようですので、今日のメインテーマになります協議事項の3に移りたいと思います。</p> <p>「第2次江田島市総合計画の基本構想の素案について」を皆様にご協議いただきたいと思います。少し時間がかかりますと思いますが、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>（3）第2次江田島市総合計画の基本構想素案について【資料3-1～3-2】</p> <p>それでは、第2次江田島市総合計画基本構想素案について説明をいたします。資料3-1と資料3-2をご覧ください。</p> <p>（基本構想素案の説明）</p> <p>※内容は資料3-1～3-2のとおり</p>
会長	<p>この基本構想素案について、何か質疑があればお願いします。</p> <p>数値目標も基本構想の中に盛り込まれており、文言だけの基本構想ではありません。具体的な数値目標が入っているのが1つの特徴になっています。</p> <p>いかがでしょうか。</p>
委員	<p>事前に配布された資料に目を通させていただいた中で、資料3-1の右側「第2次江田島市総合計画が目指すまちづくり」で交流人口の倍増と掲げておられるのですが、基本戦略の中に観光という言葉が1つも出てきません。</p> <p>どこの部門にでも入ってくるとも言えますが、7つの柱の中には観光という言葉がない状況です。交流人口の倍増を掲げ、情報発信をしていかないといけなくなると、観光事業は大きい存在にならざるを得ないと思うのですが、この中に入らないのはどういう事でしょうか。観光部門が漠然としていてターゲットが掴めないと感じていますが、どうでしょうか。</p>
事務局	<p>観光となりますと、資料3-2の16頁を見ていただきたいのですが、観光も産業部門の1つの柱と定義しています。また、今回の市民アンケートの中でも観光資源の発掘・魅力づくりや宿泊・観光施設の整備も満足度が低い分野となっていますので、記載にありますように、取り組んでおられるサイクリングなどのアウトドア・自然体験を核とした体験型観光の振興などにより観光にも力を入れていきたいと思っています。</p> <p>要約版については、ご指摘の通り観光という言葉が入って来ていませんが、計画書では入っており、観光を低く位置づけているということではないので、ご了解いただければと思います。</p>
会長	<p>私が資料を読ませていただいた感覚では、「未来を切り開くまちづくり」というキャッチフレーズがありますが、ここが全て観光に当てはまるのかなと思っています。</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

委員	<p>詳しく読めばそうであるとわかるのですが、漠然としており、観光のターゲットが見えないと感じています。先ほど、産業部門に入っているということでしたが、産業の一部なのかということも感じます。</p> <p>この資料を見て、皆さんが考えていく場合に、中身を詳しく読む人は少ないので、もっと前面に出していただいた方がやる気が出るのではないかと思います。</p>
会長	<p>通常の観光でいう「宮島観光」などというように書くのではなく、江田島が目指して行くのが体験型、レクリエーションを活用した内容ということです。特にそれを江田島の特徴として売りにしていかなければいけません。</p>
委員	<p>市民アンケートやワークショップの結果を見ましても、色々な観光に対してのご意見、不満とかを含めた上で、観光事業はしっかりと官民がやっていかなければいけないと思います。</p> <p>ですので、産業部門の1つにされてしまうと、目標が漠然としていまいどうなのかなという思いがあります。一生懸命観光のために頑張っておられる方に対して、今からどういいう問題があるのかという問題提起にしても、漠然としすぎているのではないかと心配しています。</p>
会長	<p>他の委員はこの件について、ご意見はないでしょうか。</p>
委員	<p>フルーツ・フィッシュ・フラワーの3F構想については、前市長が市職員だった頃に江能広域事業として計画を作られたもので、観光と結びついた産業を発展させようと言うことを考えられ、そういう面からいくと、産業と結びついた観光となります。</p> <p>どういう文言とするかはありますが、工業誘致と言っても立地がない状況で、合併前から産業で生きるか観光で生きるかという状況にあります。ですから、観光という言葉を何かの形で入れるべきかと思います。産業と結びついた観光として考えてはどうでしょうか。</p>
委員	<p>名前がどうこうよりも、観光としての目標がないと、教育・文化やその他の分野にも観光はあり、漠然としてしまうという心配をしています。</p>
会長	<p>広島県としても観光に力を入れていますが、どうでしょうか。</p>
委員	<p>おっしゃる通り、産業の中の1つとして、観光というだけではなく観光産業という形で、県の中でも産業分野の中での観光というものを重点的に取り組んでいます。</p> <p>今回の計画を見せていただくと、「市民満足度の高いまちづくり」に産業があり、その中にも当然観光は入ると思いますが、数値目標の交流人口倍増を見ますと「未来を切り開くまちづくり」の部分が全体では観光を指しているのかと思います。</p> <p>これをやることによって、総観光客数100万人を目指していくと理解していますので、そういう意味では、観光の文言を入れてわかりやすくしてはどうかと思います。</p>
会長	<p>時期的に海生交流都市というのは、瀬戸内海の関係する島、町が大きく連合していこうかという流れが続いていますので、そのグループの狙うところが観光になってくるのではないかと思います。要約版の図に観光という文言を入れられたら良いのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>「未来を切り開くまちづくり」の目標も総観光客数を活用していますし、それによって観光消費額の増加や経済活動の拡大につなげたいというイメージを持っています。ですので、この部分は観光に結びつくイメージでしたが、ご指摘の通り要約版になると観光がわかりにくいので、工夫させていただきたいと思います。</p>
委員	<p>今、江田島市がやっておられるオリーブの島とか民泊も、産業ではなく観光の一環だと思っていますし、PRすべきだと思っています。</p> <p>観光というのは1つの項目になり、その下にオリーブなり民泊なりの枝葉をつけていく、PRしていくことになるのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>本日結論を求めるわけではないのですが。</p>
会長	<p>今後、市民に対する意見募集や市民に対する説明会が予定されていますので、それまでには今のご意見を反映したものを検討していただき、説明会の場面では資料の中に入れるか口頭で観光であることを説明できる形にしていいただければと思います。</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

委員	指摘されたように観光という言葉が、資料の図表に埋もれていて、文章には含まれていると説明がありましたが、一般的に聞くと観光という言葉が少なく、動きが少ないと思われまので、強調して書き出した方が良くと思います。
会長	他にございませんでしょうか。
委員	人口問題で平成36年度の推計人口がおおよそ2万人で、これを3千人増と掲げておられますが、具体的にどんなことを考えるのか、今後我々がそれを考えていく問題になるので気になりました。 結局、なぜこんなに人が減るのかというと、働く人口がどんどん外へ出て行き、中学、高校、大学と出た人が帰ってこない状況にあります。 医療機関も江田島町で昔は10軒ありましたが、今は5軒しかありません。それも、高齢化された医者が増えており、2～3軒しか残らない状況です。 なぜかという、親の仕事を子が継がないので、百姓をしていて大きなみかん農家であっても継がず、漁業も同じように減っているのではないかと思います。1次産業にしろ、親の仕事で子供が食べていけないという環境がだめなのではないでしょうか。 他の観光地へ行くと、大規模なりんご園でそこでたくさん売っているとか、海産物をたくさん売ったりしていますが、江田島市ではそういう所がないと感じます。道ばたで100円とかで売っているだけではだめで、そういう事を考えないと江田島市の未来はないのではないのでしょうか。
会長	基本的には、先ほどから出てきました産業部門で観光に軸足を置いた、コミュニティビジネスなどと連動させて行くことになるのかなと思います。
委員	江田島町は旧海軍兵学校などのすぐそばですが、ほとんど民間にお金は落ちず、施設内に入って出てきたら、外には寄らない状況です。国立江田島青少年交流の家にも貸切バスは多く来ますが、そのまま素通りで帰ります。 なので、私の住んでいる江田島町では中央などの過疎化の状況に愕然としています。旧役場の近辺は、昔は人が多く、買い物屋も多くありましたが、すでに人がいないかお年寄りか、廃屋かですので、それをどうにかしないといけないと思います。 他の町の状況はわかりませんが、バスは多いため、道路を渡ろうとするとなかなか渡れないくらいです。
会長	観光などに来られた方が、民間にお金を落とさないことは考えなくてはいけないと思います。1つのモデルとして道の駅を作ってそこに観光バスを止めるということもあるので、地域資源を集約する場所を作り、そこに観光バスや観光客が止まる、ということが必要だと思います。 そうすると、他の生産者の人たちも元気が出てくればコミュニティビジネスという形で展開していけると言うことを狙っているのではないかと、この計画を読んだときに感じました。 そういう、条件整備の方は基本構想ではなく、基本計画の中で仕掛けも必要になってくると思います。地域資源とありますが、どういう風に観光と結びつけながら、お金を現地に落として貰うかという事も、商工会なども含めて住民全体でやっていくと、周辺の生産者も元気になっていきます。 庄原市高野町の道の駅では色々とアイデアを出して、いろんな産物を売ろうとされています。継続していくことに課題はあるようですが、そういった事も念頭に置きながら考えると、江田島市にも必要ではないかなと思います。どうでしょうか。
委員	庄原市高野町の道の駅については色々と聞いています。道の駅たかのは、他で作った物は置かず地元で作った物を産直で販売したり、地元の物でスイーツや漬け物を作るなど加工して出し、皆さんに買って貰おうとされています。 道の駅というと、人を集めれば良いんだという事で、色々な産地の物を集めているケースもありますが、高野町の場合は地元の物を使い、全体として収入を増やそうとされているので、他と違う取り組みと言うことでは参考になるのではないかと思います。
会長	江田島市の場合は山の農産物、海の家産物が両方あります。海産物は生もので現地に行かないとだめなので、海産物の道の駅はあまりありません。

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

<p>委員</p>	<p>水産関係でいえば、やはりカキや魚の冷凍施設がないため、その日獲った物は翌日には出荷しないといけないという状況にあります。昔は活魚でないとだめとかありましたが、今は冷凍品でもそう変わらないため三原市のたこなども冷凍保存が行われています。</p> <p>1次産業を広げていこうと言うことであれば、生鮮品を中長期保存できるよう冷凍設備を整備した上で、販売も同時に進んでいく形になれば漁業生産なども上がっていくのかなと思います。</p> <p>漁業組合としても合併して取り組んでいかなければならない課題の1つではありますが、保存できないためにカキや魚を処分しなければならなくなる現状が、安値安定で生産量が上がらない理由の1つかと思います。何かの形で、1ヶ月でも半年でもオーダーがあれば出荷できる形を整えることも必要かと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>5月の時期はクロダイで1日2トンの水揚げがありますが、市場でも売り切れないことがあります。その余った物を加工品にでも出来て、県外のお店などに商談が出来るような形で広がっていく産業を検討していただければと思います。</p> <p>他の良い事例は参考にしながら、検討していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>高野町の道の駅には雪室があり、年中、地域で獲れた野菜などを保存し提供できる施設となっていますので、それと同じような発想かと思います。</p> <p>漁業関係の施設だけではなく、横断的な形で、観光や農業などとのネットワークの中で位置づける施設という形での提案を行政にも理解していただきたいと思います。</p> <p>行政には産業や教育や福祉などに関わる部署がありますが、これらを横断的にいこうというのが、第1次総合計画にはない部分でした。資料3-1にもありますが、基本構想では横断的な事業を実施していくことがポイントになっていく気がします。</p> <p>具体的な基本計画を今後作っていきますが、その中に可能であれば盛り込んで行くことを市の内部で検討していただきたいと思います。</p> <p>市長さんなどの考えもあるでしょうが、そういった仕掛けを作ると、他の所に波及していきますので、それを行政も市民も理解しながら協力し合って、そういった施設を中心にアイデアを出し、色々な活動をつくり活性化に繋がれば、結果的に安い物ではないかと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>観光のことにに関して、日帰り客は通り抜けがほとんどで、寄るところもあまりない状況です。それを1泊できるような環境にできれば、お昼のお弁当などにも波及するのではないのでしょうか。砲台山からの夜景もすばらしく、冬はカキ、夏はひまわり、秋はコスモスやみかん狩り、春は桜と年中楽しめる環境を作れば、皆さん来られるのではないかと思います。またそういったもので1泊してもらいたいです。</p>
<p>会長</p>	<p>非常に良いアイデアではないかと思います。県立大学の先生が江田島に入り、マップを作成されており、江田島の名所や産物をスマートフォンで見られるようにするようです。</p> <p>夜景や海も非常にきれいなので、そのような夢が展開できるような構想となっているのかチェックしていただきたいところです。</p> <p>重要なのは横断的なところで、各委員が言われたような単発な所だけ、選択と集中的に進めても町全体が必ずしも活性化するとは行かなくなってきており、それが上手くいかなかったときに全部がダメになってしまうと危険ということもあります。横断的にネットワークを作り、全体の中でそれに乗っかっていくというような、やり方が良いと思っています。</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

委員	<p>資料3-1の右側の図について、第1次総合計画の「自然との共生，都市との交流」は良い言葉が出てきたなと思っていましたが，現実には資料等を見ないとなかなか頭に入らなかったのですが，「恵み多き島」は身近で親しみやすくわかりやすいと思いました。恵みというのも，自然や人，もの，ことなど色んな物に対して，色んな年代の人が恵み多き島について考えると言うことで，良いなと思いました。</p> <p>第1次総合計画は市の主導という形でしたが，今回は協働と交流で作り出すということで，協働のまちづくりや交流を考えると，「恵み多き島」は皆さんにアピールしやすい標語だなと思いました。また，子供たちに考えさせる事も出来る言葉だなと思いました。この図を見て，誰もが自分のこととして考えることが出来る図になれば，なお良いなと思いました。</p> <p>また，黄色い枠内の青文字の下段で「住んでみたい，ずっと住み続けたい・・・」とありますが，逆かなと思いました。自分たちがずっと住み続けたい，そして来られた方が住んでみたいの方が順序としては良いかなと思いました。</p>
会長	<p>今住んでいる住民を主にして，これから江田島で定住していただく人を次にしてはどうかというご意見です。</p>
委員	<p>「市民満足度の高いまちづくり」という言葉よりも，「住みやすいまちづくり」の方が本当は良いのかなと思いました。住民側からすると，市民満足度が高いというのも少し引っかけますが，計画を実施する側から見ると悪い言葉ではないと思います。資料はよくわかる図表だと思います。</p>
会長	<p>言葉のこだわりも大事だと思いますので，検討していただければと思います。これはまだ基本構想ですので，今後これを基本計画に落とし込んで行かなくてはなりません。その時には，もう少し具体的になっていくと思いますので，各委員の意見も考えておいていただければと思います。</p> <p>先ほど，観光という言葉が抜けているということは，表現を考慮していただきたいと思います。</p> <p>「住んでみたい，住み続けたい」は順番を入れ替えていただければと思います。</p>
委員	<p>目標のことについてお伺いしたいのですが，市民満足度で70点以上と言うことになっていますが，それぞれの部門ごとに70点以上でしょうか。その下の分野は高かったり低かったりするのでしょうか。</p>
事務局	<p>最終的には部門でまとめる事になると思いますが，施策を進める上ではそれぞれの分野で70点を目指していくこととなります。</p>
委員	<p>満足度の高いもの，重要度の高いものなどあると思いますが，どれも同じように満足度を上げていくのかどうか気になりました。それぞれの施策の中でメリハリをつけ70点以上という風に理解させていただきました。</p>
会長	<p>少し注意していただきたいのは，重要度の評価と満足度の評価は連動します。一般的に重要だとなつくと不満が高くなり，満足としたら重要度は低くなります。良い指標なのは乖離ポイントを減らすと言うことがいいのではないかなと思います。</p> <p>今後もアンケートで重要度，満足度をチェックしていくことになると思いますが，数値目標で70点以上と出して大丈夫かなという思う部分もあり，場合によっては，指標を見直すなり事もあると思います。</p> <p>ただ，5年後のマイルストーンの60点は超えて欲しいと思います。その時には乖離ポイントも縮まっていると思いますので，その場合は重要度が低くなっている可能性もあるので，少し考慮していただければと思います。</p> <p>今の指標に関する意見は重要なことだと思いますが，先ほどの意見を修正する形で，基本構想の素案をお認め頂き，住民説明資料として使って良いかを結審したいと思いますがいかがでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>

【平成25年10月31日：第2次江田島市総合計画審議会（第2回）要点録】

会長	<p>それでは、住民説明用の資料としてお使いいただきたいと思います。</p> <p>（４）パブリックコメントについて【資料４】 続いて、協議事項（４）「パブリックコメントについて」を事務局から説明をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは資料４をご覧ください。 （パブリックコメントについて説明）</p> <p>※内容は資料４のとおり</p>
会長	<p>ありがとうございました。 今日、審議していただいた基本構想を11月15日から12月16日のおよそ1ヶ月かけてパブリックコメントを求めると言うことで、案の公表の方法、提出方法なども含めて、事務局の案でよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし</p>
会長	<p>12月7日に行われる住民説明会では、今日審議した内容の基本構想を配布することをご了承いただければと思います。</p> <p>（５）今後のスケジュールについて【資料５】 それでは、協議事項（５）「今後のスケジュールについて」を事務局から説明をしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>それでは資料５をご覧ください。 （今後のスケジュールについて説明）</p> <p>※内容は資料５のとおり</p>
会長	<p>この審議会は、来年2月の中間答申に向けて審議を進めているところです。2月には中間答申の案を決定しないといけませんので、本日の素案についても今後の微調整があると思いますが、そういうご理解で審議会に参加していただければと思います。 スケジュールについては何かございませんでしょうか。</p>
委員	<p>スケジュールのことではありませんが、本日も色々説明をしていただきましたが、自分が表などを見ながら説明頂かないと、早い部分がありましたので、自分の言葉として話せるような説明としていただきたいなと思いました。 住民説明会だともっとついて行けない方も居られるかと思いますが。</p>
会長	<p>パブリックコメントの中の、住民説明会の席では、早くなりすぎないよう配慮していただければと思います。 作り手は全体が頭に入っているので省略しがちですが、聞き手の立場にたっお願いしたいと思います。</p> <p>少しスケジュールに変更がありましたが、このスケジュールを念頭に置きながら、また基本構想素案についても各委員の周囲の方にお話しいただき、話し合っただけであればと思います。住民と協働で進めていくということなので、情報の共有は必要かと思えます。 中間答申が終わりますと、基本計画に入って参りますので、色々なアイデアを出せればと思っていますのでよろしくお願いします。</p> <p>資料として前回の議事録もついておりますので、目を通していただければと思います。 協議事項は終わりましたので、事務局の方へお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>以上をもちまして、第2次江田島市総合計画審議会第2回会議を閉じたいと思います。 ありがとうございました。</p>